

新型コロナウイルス感染症による需要増への対応 ポリエチレン製国産手袋の増産及び簡易ガウンの供給

オルディ株式会社（代表取締役社長 寶田昌也）は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による需要増に伴い、国内の製造工場子会社ケイエスケイ・システム株式会社などの設備を利用し、ポリエチレン製手袋の増産並びに緊急時用のポリエチレン製簡易ガウンの生産を開始します。

ポリエチレン製手袋は、現在フルキャパで月産700万枚の生産を行っていますが、需要に追いついていない状況であることから、設備の新設を進め2020年8月頃を目途に稼働開始し、月産840万枚の生産を目指します。

また、ポリエチレン製簡易ガウンは、医療現場で不足する防護服の代用品として、腕部と胴体部の2つのパーツを使い、容易に装着できる構造の使い切りガウンです。腕部は親指を通す穴を設けており、5月初旬より月産10万枚の生産を開始いたします。

今後も顧客ニーズや感染状況などを考慮しながら、需要増への対応を行っていきます。

●ポリエチレン手袋



参考写真：ポリエチレン手袋(右)/ロング(左)

生産可能なサイズなど

素材：ポリエチレン

サイズ：M・Lサイズ

全長：200～400mm

厚さ：0.02～0.05mm

色：透明・白など



ポリエチレン手袋の製造機

●ポリエチレン製簡易ガウン

腕部・胴部の2つのパーツで、容易に装着



腕パーツを背負うように腕に通し、
親指部を穴に通す

胴パーツに頭を通してかぶる。
紐を腰に巻き締める。

